

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 静岡県立伊豆総合高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒410-2401

静岡県伊豆市牧之郷 892

E-mail : izusogo-h@edu.pref.shizuoka.jp

Website : http://www.edu.pref.shizuoka.jp/izusogo-h/home.nsf

児童生徒数：男子 494 名 女子 243 名 合計 737 名

児童・生徒の年齢 15 歳～ 18 歳

2. 担当者

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (ジオパーク)

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

（1）生徒によるジオツアー（地質遺産見学会）

ジオツアーは、学校周辺の地質遺産を生徒がガイドした。生徒はハンズフリー拡声器を装備し、自作のリーフレットを用いて説明を行う。

2012年度は小中高校生（10～18歳）向けに2回、教員向けに1回、一般市民（中高年）向けに4回、計7回のジオツアーを実施した。参加者は193人（小中高校生68人、一般市民83人、教員42人）である。

（2）生徒によるジオパークをテーマにした出前授業と教材開発

出前授業では、地域の地質遺産について楽しく学ぶプログラムを生徒が実施した。2012年度は小中学生を対象に2回実施し、参加者は105人であった。実施したプログラムは、生徒自作の「ジオカルタ（伊豆半島の火山や地域の特産物が記載されたカルタ）」、「ジオスゴロク（伊豆半島形成の歴史をたどるスゴロク）」である。

（3）ジオパークをテーマにした高校間連携学習

2012年8月3日には、静岡県教育委員会主催の地学講座にてジオツアーが実施された。県内の県立高校5校20名の生徒が参加し、本校生徒がガイドを務めた。

（4）学会発表（ジオパーク活動について）

2012年度は、2回の学会発表（いずれもポスター発表）を行った。2012年5月12、13日には、長崎県島原市で開催された「第5回ジオパーク国際ユネスコ会議」に参加し、英語による発表を行った。

（5）商品開発（ジオパーク関連）

①スマートフォン向けアプリケーション

ジオツアーで使用するリーフレットは2011年度に静岡県東部地域政策局の協力を得て5種、20,000部印刷された。このリーフレットと、学会発表に用いたポスター（日本語、英語）のPDFデータは、スマートフォン向けアプリケーション「いずジオ情報局」（「株式会社アーティスティックス」製作）にて一般公開されている（2012年6月～）。

②菓子

伊豆半島の地質遺産をモチーフにした菓子（ジオ菓子、「ジオガシ旅行団」製作）「伊豆市下白岩有孔虫化石ヌガー」を共同開発した。生徒が地質遺産の解説文（日本語、英語）を作成した。伊豆半島各地（9か所）、東京（1か所）で一般販売されている（2012年11月～）。

（6）総合学科の「総合的な学習の時間」におけるジオパーク教育の実施

2012年度は122人が対象となった。（実施率：総授業数に対する実施時間数の割合…40%）ジオパーク研究員による講演、ワークシートを用いたジオパークに関する基礎知識の理解、ジオツアーの実施、レポートの作成（テーマ自由選択制、レポートの作成は実施時間に含まず）を行った。

